

全国統一防災訓練に併せ「防災学習会」を開催しました

6月は「土砂災害防止月間」です。この期間中には全国統一防災訓練が各地で行われます。秋田県では県内8地域振興局管内で防災訓練が実施され、その中で土砂災害に関する防災知識の普及啓発を目的とした「土砂災害に関する防災学習会」を開催しました。

（開催日）

- 令和元年 5月24日（金）：山本地域振興局管内
- 令和元年 6月2日（日）：鹿角・北秋田・秋田・仙北・平鹿地域振興局管内
- 令和元年 6月4日（火）：由利地域振興局管内
- 令和元年 6月12日（水）：雄勝地域振興局管内

（参加者） 県（振興局建設部）、関係市町村、消防関係者、避難訓練参加した地域住民、砂防ボランティア（会員16名）

（学習会の内容）

学習会は、避難訓練の参加者を対象として講師は砂防ボランティア会員が担当しました。題材は、主に平成27年4月に湯沢市沖の沢地区で起こった山腹崩壊により、土石流発生の危険性が高まったことから、当該地区では警戒避難体制を構築し避難訓練を行いました。そしてその2か月後の豪雨により土砂災害の危険性が一層増大したことから避難指示が発令され避難した実例を紹介し、日頃からの土砂災害に対する心構え、避難警報や避難指示が発令された時の対処等について、学習しました。

（学習会の状況）

鹿角地域振興局：鹿角市花輪下夕町地区



北秋田地域振興局 大館市 田代越山



山本地域振興局：能代市小繁沢地区



湯上市飯田川下虻川地区



由利地域振興局：にかほ市金浦地区



仙北地域振興局：仙北市田沢湖刺巻地区



平鹿地域振興局：横手市大屋地



雄勝地域振興局：東成瀬村田子内地区



秋田魁新聞：

令和元年 6 月 3 日付

大雨による土砂災害の発生 災訓練「がう日、横手市などに備えた「土砂災害・全国防 県内5市で行われた。住民の

住民ら約100人が参加した横手市大屋の寺内、鬼風面地区では、大雨による土砂災害を想定して午前9時10分ごろに訓練を開始。大雨洪水警報、土砂災害警戒情報に続き、同33分に避難勧告が発令された。住民は手を掛け合い、徒歩などで寺内集落センターや鬼風会館に向かった。その後、同45分までにバスなどで避難所の栄公民館さかえ館に到着し、避難が完了した。

同館で開かれた学習会では、NPO法人県砂防ボランティア協会のスタッフが、避難訓練が役立つ事例を紹介し、「自宅の土砂災害の危険度を知り、気象情報をしっかりと確認することが大事」と強調した。

鬼風地区会長の藤原貴さん（左）は「訓練を重ねることで災害への意識が高まる。生活の中にも根付かせたい」と話した。

全国防災訓練は、国土交通省や都道府県などが6月の土砂災害防止月間に合わせ、2006年から実施。県内ではこの日、鹿角、大館、湯上、仙北の各市でも行われた。

（伊藤寛明）

住民ら避難経路確認

横手など 大雨の土砂災害備え
全国訓練



学習会で備えの大切さを学ぶ住民ら＝横手市

ほか、消防や行政関係者らが参加し、避難経路や情報伝達の流れなどを確認。学習会を通じて備えの大切さを学んだ。